

完成見学会

緑区

5/22 Fri 23 Sat 24 Sun

Charmant Chic Build

(シャルマンシックビルド)

- 第一種住居地域
- RC造3階建
- 2LDK、3LDK
- 敷地面積/758.72㎡(229.51坪)
- 延床面積/1,036.92㎡(313.67坪)
- 家賃/132,000~170,000円
(78.96~103.58㎡)



緑区徳重のニュータウンにCharmant(魅力的で)、Chic(おしゃれな)、Build(建物)が誕生します。白い外壁が目目を惹く、都市型リゾートマンション。こだわり抜いた造形美と施工力を実際に触れて感じて、その目で確かめてください。



B!-co

Build-communication

2020.04

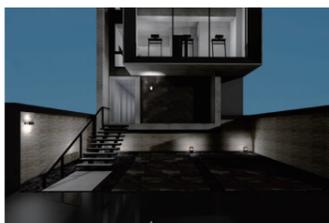
66



OISHI GYM X Tokai-Build

無骨なスチールサッシとブラックフレームのカーテンウォールが目目を惹く外観。ガラスアートが連続するトンネル状のエントランス空間。世界王者のトレーナー、最新鋭のマシン設備、照明デザイナーによる独創的な照明計画。世界の大石ジム×東海・ビルドの再タッグが実現!

完成内覧会開催 7/中旬予定



今年も暖冬でした。早いもので柔らかな日差しが降り注ぐ季節となりました。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

花粉症が辛いB!-co編集部です。

世の中は新型コロナウイルスの話題一色です。一人ひとりが、今出来る予防策を行い、事態の収束を願うしかありません。また春は本来、球春到来の季節です。コロナウイルスの影響で各スポーツも無観客試合や中止が相次いでいます。高校球児やアスリートの皆様の事を思うと胸が苦しくなりますね。事態収束まで『ガンバロウ 日本』。

Tokai-Build NEWS 「B!-co」編集部



株式会社 東海・ビルド

☎052-772-9100(代) <http://www.tokai-build.com>

特定建設業知事(特-27)第49209号 宅地建物取引業 知事(5)第18792号
東海ビルド一級建築士事務所 住宅性能保証制度登録店
〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原一丁目1307番地

✉ eigy@tokai-build.com

東海・ビルド

検索



プロローグ

The GOSSIP HOUSE。始まりは約3年前。

御両親の御自宅を別敷地に建築させていただき、当該敷地に予定していたあるプロジェクトがありました。

「THE GOSSIP APARTMENT」。

北側道路、敷地100坪、北面には公園があり、閑静な住宅街。駅からは徒歩10分程あり、分譲、賃貸を問わずマンション激戦区。

ここに自宅付共同住宅を計画。設計 増田と共に導き出したプランは4つのコンセプトを持つブロックから形成される建物。住まれる方のライフスタイルを想像し、他と一線を画したデザインを取り入れたプロジェクト。SKY HOUSE(オーナー邸)、DECKBALCONY HOUSE、PICTURE HOUSE、TERRACE HOUSEの構成。

SKY HOUSEは文字どおり最上階からの眺めを重視、DECKBALCONY HOUSEは張り出した大きなバルコニーから開放的な空間を演出、PICTURE HOUSEは大きな窓を設け、まるで写真で切り取ったかのように様々な表情を見せる景色を眺める、そしてTERRACE HOUSEは1階ならではのガーデニングを楽しめる自然の空間を満喫する。

かくしてプロジェクトは順調に進むように思えたが・・・。

ここでおさらい。自宅付共同住宅を建築するメリットをざっくり言うと、返済原資を賃貸部分の賃料で賄える。デメリットは一つ屋根の下におさまる。プライバシーの確保の問題である。プロジェクトの船出を切ったと思えた矢先、後者のデメリットがオーナー様の頭をよぎった。家族のプライバシーは大丈夫か? 本当に家族は喜んでくれるか?

増田と顔を合わせて出した結論はプロジェクト中止。オーナー様は申し訳なさそうでしたが、弊社のコンセプトは「夢、実現」。ここから外れる訳にはいかない。

時は流れ3年後。消費税が10%に増税されるタイミングで一本の電話が鳴った。

「住宅のみで建築します!」

The GOSSIP HOUSEプロジェクトの始まりでした。



The GOSSIP HOUSE

名古屋市

住宅の計画に入る前の打合せ時にお施主様から頂いたご要望は、

・敷地いっぱいに建物を建てて中庭を囲みたい!

・外が好き!

・白、シルバー、グレー!

このようなご要望から生み出されたThe GOSSIP HOUSE。

この建物を文章で表現すると・・・

「大きな中庭に全面的に解放された内部空間。LDKの南側に設けられた高窓からは光が降り注ぎ、北側の大きな中庭に視線が抜けていく。LDKと全く同じタイルが張られた中庭。こうして視覚的に連続した空間は50帖を超える。中庭には外部階段があり、さらに上へと視線が誘導されていく。その先に待っているのは・・・」

このような感じのラジオCMが作れそうな楽しい住宅が完成しました。

設計/アーキビルド設計工房
施工/株式会社東海・ビルド

構造:鉄筋コンクリート造2階建 ラーメン構造
面積:敷地面積/335.36㎡(101.44坪)
建築面積/199.59㎡(64.87坪)
延床面積/280.40㎡(84.820坪)

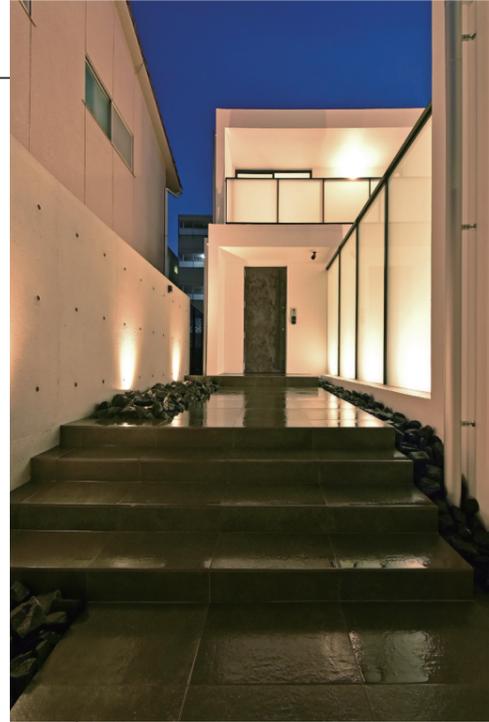
01 外観昼景、夕景

白、コンクリート、超大判タイルの3つのマテリアルで構成された外観。雨樋や電気、ガスのメーター類を見せないところがこだわり。



02 アプローチ

中庭とアプローチを隔てるガラスパネルが行灯の様に光り、夜は幻想的な雰囲気になるアプローチ空間。



03 ゴシップエントランス

玄関や玄関ホール、シューズインクローゼットというような壁で区切られたスペースではなく、LDKの延長として土足ゾーンを計画。



05 トイレ

シンメトリー柄の美しいブックマッチタイルをアクセント壁に採用したトイレ空間。奥様のアイデアで、トイレ背面の壁の裏が収納になっている。



04 LDK、中庭、屋上テラス

外と内との連続性を高めることで、空間的な広がりを感じられる。中庭の階段を上ると、70㎡を超える屋上テラスが広がる。



06 階段横の洋室

階段上部に3灯吊したペンダントライトをディスプレイの様に切り取った家の中のピックアップチャーウィンドウ。これも奥様のアイデア。



5m cantilever

この建物を通り過ぎる人は思わずこう言うでしょう。

「どえりゃあ(建物が)でとるで」。

そう。この建物のネーミングは

「de·to·ru·de」デトルデです。

RC壁式構造で5mの

キャンチレバー

(片持ち梁)を実現。



設計/東海・ビルド一級建築士事務所
施工/株式会社東海・ビルド

構造:壁式鉄筋コンクリート造3階建
面積:敷地面積/458.00㎡(138.84坪)
建築面積/201.00㎡(60.80坪)
延床面積/483.00㎡(146.10坪)

detorude

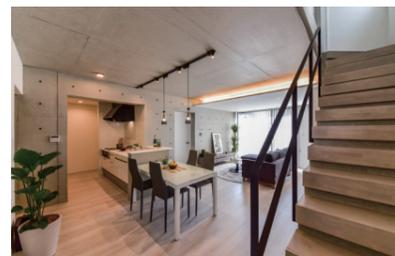
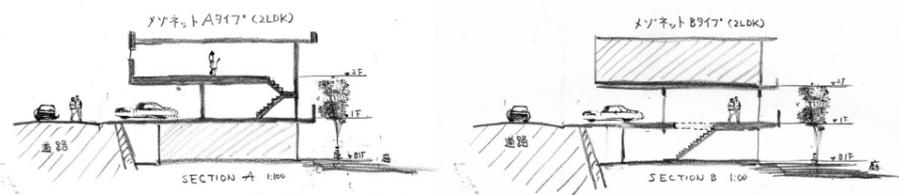
名古屋市天白区植田二丁目

01 Architect

場所は天白区植田。駅から徒歩6分と好立地ですが周辺には多くの賃貸マンションがあり、またオーナー邸が隣接しています。物件の差別化やアッパー層の入居者様をターゲットとする為、高いデザイン性やワンランク上の居住空間が求められました。

弊社が提案したのは敷地内にある3mの高低差を生かし、2階をエントランスとした上下に展開するメゾネットタイプ。そして屋根付き駐車場を兼ねた5mのキャンチレバー案です。

立体的に展開する内部空間と、圧倒的なインパクトの外観はダイレクトに入居者様の心に響きます。即満室御礼也。



02 Operation

南垂れ、旗竿の土地で南北に接道している。北側に擁壁があり、道路面と3mの高低差がある。南側からアプローチすることも可能であったが、あえてレベル差のある北側をエントランスとした。2階をエントランスとする事で、賃貸では敬遠される1階を人の視線が気にならない魅力的な居室へと変えた。また3階の中部屋も魅力的な空間にする為、一番面積の広いタイプとした。

■概略図

303 K (82.20㎡) 69.00ef	302 R (94.59㎡) 69.00ef	301 S (82.20㎡) 69.00ef
12.80ef	22.20ef	34.70ef
102 H (87.80㎡) 75.00ef	101 T (87.80㎡) 75.00ef	



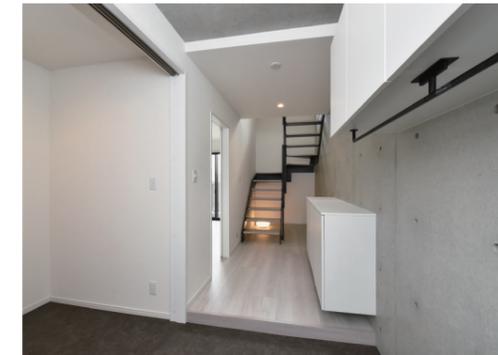
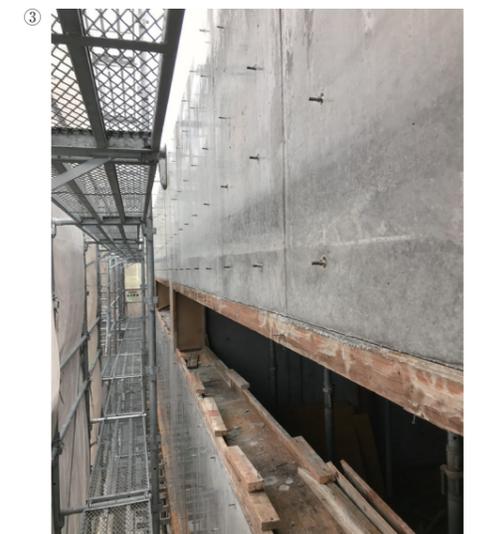
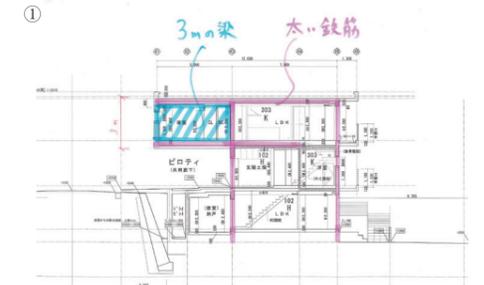
北側の擁壁

LDKはキッチンを中心に階段、洗面所と回廊性を持たせた動線計画。階段室の仕切りをガラスにすることで空間に広がり生まれる。



03 Construction

5mカンチレバーの構造は高さ3mの梁(図①/青い部分)と3階の上下と基礎まで縦に伸びている太い鉄筋(図①/ピンクの部分)で成り立っている。②の写真は3mの梁の配筋。図面で書くのは簡単だが施工は非常に難しい。まず鉄筋の精度。壁厚30cmの中に太い鉄筋を何本も入れている。これが真っ直ぐ入っていないとコンクリートが綺麗に流れ込まない。打設時も流れにくい箇所を入念に注意し、仕上げてゆく。③の写真の様に鉄筋が集中している箇所やコンクリートが回りにくい水平窓も綺麗に打つことが出来た。写真④のカンチレバー部分の型枠。支柱のサポートを調整しながら水平を保つ。コンクリートが固まるにつれて、サポートにかかる荷重が次第に軽くなる事が日々実感できた。



玄関には大容量の収納。自転車やベビーカー、ゴルフバックなど様々なものが置ける。スリット階段を通して上階の窓からの光が落ちる。

04 TEAM-C.O.A

オーナー様は子どもの頃に訪れたRC打ち放しの住宅をきっかけに、ずっとRC打ち放しの建築を建てる事が夢だったそう。打ち合わせを通して、その「想い」がとても伝わって来ました。その「想い」を最大限実現するべく、工事・営業・設計のTEAM-C.O.A3部署が企画から施工まで全力でお手伝いさせて頂きました。3mの崖地や複雑な諸条件から生まれた挑戦的なアイデアでしたが、この場所だからこそ創り上げる事が出来た「世界で一つしか無い建築」です。こうして建築させて頂いた事を深く感謝し、今後は安定した長期の賃貸経営をお手伝いするべく、維持管理のアフターフォローもしっかりとさせて頂きます。



二子山ファミリークリニック



愛知県春日井市二子町1丁目5-6

設計/アーキビルド設計工房 施工/株式会社東海・ビルド



クリニックの再生

春日井市にあるクリニックを、内科、小児科としてリノベーションをさせていただきました。先生より「暖かみのある空間」にしたいと要望を受け、木ルーバーや緑を基調とした内装を採用し、明るく優しい空間を目指した。既存の壁は、レントゲン室以外スケルトン状態にして一から配置計画。待合室は、入口から中庭へ直線で抜ける空間に木ルーバーを設置して木の暖かく優しい空間にすると同時に、現在は使用しない吹出口などの目隠しとしても使用。室内壁は、入口から庭に向けて広げた斜めの壁にすることで、その他のスペースがより有効活用できるようにした。さらに、庭を眺める患者様やキッズスペースで遊んでいるお子様を見渡せるようになっている。この待合室を基点として、患者様とスタッフ様の動線を交差しないよう配置計画を行った。外部では、アプローチ屋根を塗装。内部と同様、木と緑のイメージを採用。アプローチから室内全体が木と緑の「暖かみ」に溢れた優しいクリニックとなった。



待合室

After

待合室

閉鎖的なカウンターを一変。待合室全体を見通せるようにした。色は黄緑を選択しアクセントに。



Before



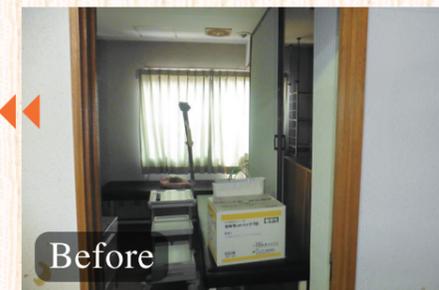
After

処置室

既存間仕切壁を解体し広々とした処置室に。内装色は待合室よりトーンを落として落ち着いた空間に。



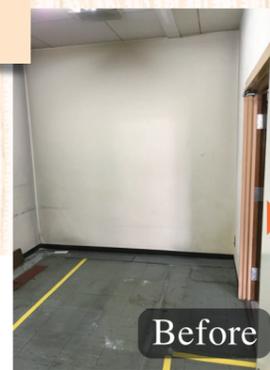
After



Before

レントゲン室

既存床ビートを埋めて広さを確保。壁は、アイボリー色に塗装。床は、他スペースと合わせて明るい空間に。



Before



After



After



Before

多目的WC

既存では、受付の一部だった場所をバリアフリー対応をした多目的WCに。



愛知県春日井市二子町1丁目5-6

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	★第3日曜
16:00~19:00	●	●	●	／	／	／	／

★……妻予約/予防接種・乳児健診のみ
(第3日曜 10:00~12:00)

休診/木曜午後、土曜午後、日・祝